

# 平成29 (2017)年度 事業報告書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

一般財団法人 高度映像情報センター

( A V C C )

## 目次

I	はじめに	4
	今こそ自由闊達な「対話」社会を！	4
	本当に「学ぶべきこと」を学び直そう！	4
	AVCC&KK2 事業説明会の開催	5
II	霞が関ナレッジスクエア(KK2)事業	6
	(1)事業全体	6
	-1 自主プログラムと延べ参加者数	8
	-2 メンバー数およびWeb会員数	9
	-3 施設利用状況(スタジオ、ラウンジ、エキスパート倶楽部)	11
	(2)人と人の絆と地域の再生	13
	-1「デジタル公民館まっさき」活動	13
	-2「やねだん」(鹿屋市串良町柳谷集落)Web ページ運営	13
	-3 やってみよう！防災アクション	14
	-4 霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～	15
	-5 レジリエンスを鍛えるプログラムのコーディネート業務	15
	-6 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定	16
	(3)しごと力向上・エキスパートと学ぶ	17
	-1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」	17
	-2 しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～	18
	-3 しごと力向上ライブラリ	19
	-4 KK2キャリア相談室	21
	-5 産学官連携プログラム	22
	-6 コンピテンシー・チェック	23
	(4)新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援	24
	-1 アクティブ・シニア版「エキスパート・スタジオ」	24
	(5)文化に親しむ交流事業(KK2文化プログラム)	24
	-1 食と文化講座	24
	-2「霞が関音楽祭」への協力	25
	-3 霞が関寄席	25
	-4 音楽・文化活動への支援	26
	-5 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～	26
	(6)官民連携支援事業	27
	-1 霞が関オープンランチミーティング	27
	-2 霞が関ばたけ	27
	(7)その他運用関連	27
	-1 協賛メンバー向け Web サービスの提供(協賛メンバーページ)	27
	-2 KK2Webサイトでの情報発信	27
	-3 霞が関ナレッジスクエアfacebookページ	28
	-4 メルマガ「メッセージ from KK2」発行(毎週金曜日)	28
	-5 霞が関ナレッジスクエア運営委員会 開催	28

<b>Ⅲ コンサルティング事業</b>	<b>30</b>
(1) ネットワーク設計コンサルティング業務	30
-1 衛星通信ネットワークコンサルティング	30
-2 海底ケーブルコンサルティング	30
-3 FTTH網構築コンサルティング	31
-4 ケーブルテレビネットワークコンサルティング	31
-5 WiFiネットワークコンサルティング	31
-6 市町村防災情報ネットワークコンサルティング	32
(2) 情報システムコンサルティング業務	33
-1 ITガバナンスコンサルティング	33
-2 業務・システム最適化コンサルティング	33
-3 システム経費適正化コンサルティング	34
-4 地域情報計画策定コンサルティング	34
(3) 情報セキュリティコンサルティング業務	34
-1 情報セキュリティ監査	34
-2 情報セキュリティ研修	34
(4) プライバシーマーク認定審査業務	34
(5) ISO27001取得コンサルティング業務	35
<b>Ⅳ 運用保守等業務支援事業</b>	<b>36</b>
(1) TV 会議システム運用業務	36
(2) 情報システム保守管理業務	36
<b>Ⅴ 教材企画制作事業</b>	<b>37</b>
(1) 生涯学習情報提供システム事業	37
(2) その他映像制作	37
<b>Ⅵ 認証・技術者資格等</b>	<b>38</b>
<b>Ⅶ 運営に関する事項</b>	<b>40</b>
(1) 役員等名簿	40
(2) 会議等の開催	40
-1 第1回理事会(通常)	40
-2 第1回運営委員会(定例)	40
-3 第1回評議員会(定時)	41
-4 第2回運営委員会(定例)	41
-5 第2回理事会(通常)	41
(3) 会員等 (平成30年3月)	41

## I はじめに

平成29年度は、(1)「コンピテンシー」を鍛える、(2)個人と社会の「レジリエンス」を高める、(3)「共同体感覚」を意識し育成する、を重点に「日本人に求められる力」を掘り下げその向上に取組みました。この取組みを通じて次のような社会の課題に行き当たりました。

今こそ自由闊達な「対話」社会を！

人間一人一人はみな違います。違いのある者同士がお互いを理解し合い、共通領域を確認しあうプロセスが「対話」です。しかし昨今、根拠に乏しい非難、恫喝や圧力といった相手を排する風潮が顕著です。国際間でも、国会でも、行政でも、ビジネスでも、地域でも、持論を言うだけで相手を理解しようせず「対話」が成り立ちません。

一人一人が、冷静に事実と向き合い根拠をもって筋道だった持論を発信する。その相手は、自分自身の理解を確認するために質問を返す。こういった基本的な「対話」ができていないのです。結果、人と人の関係性が希薄になり、コミュニティの絆が綻んでいく、そんな印象を強く感じます。

日本は、経験したことのない少子高齢化社会を迎えています。「対話」を通して多様性を保たなければ、社会は疲弊し、格差は拡大し、地域や社会は硬直してしまいます。柔軟性をもって意見をかわし、より良い方法を探ることこそ、いま皆で取り組まなければなりません。常態化する変化を素直に受け止め、対話し、助け合い、しなやかに対応していくことしか、私たちの進む道はありません。

本当に「学ぶべきこと」を学び直そう！

超高齢社会が進み人生100年時代が現実となる中、現役と余生を生きる者、健康な者と健康を損なった者、若者と老人、性差、日本人と外人、文化の違いといった様々な区別や差別を解消し、自律した一人一人が全員活躍できる「一人一役、みんなが主役」の社会が待望されます。

一方で、高学歴で社会をリードする立場の人達の不正行為が多発しています。モノづくり企業での実験データ・検査データのねつ造、お役所での公文書改ざん・データ隠し、等社会を欺く「不正」がまかり通っています。子供の頃親に諭された「嘘つきは泥棒の始まり！」といった、本当に「学ぶべきこと」を身につけていない、もしくは捨ててしまった大人が増えています。

「学び直し」や「働き方改革」で大切なことは、私たち一人一人が「本当に学ぶべきこと」をきちんとおさらいし、変化にしなやかに対応する自律した「学び」を身につけることではないでしょうか。

### AVCC & KK<sup>2</sup> 事業説明会の開催

AVCCとKK<sup>2</sup>の事業説明会を5月26日(金)に開催しました。人生100年時代が現実のものとなりつつある今、第



二の人生に向けて心と向き合いかに人間らしく過ごすかが大きな課題となっています。今回は、AVCC & KK<sup>2</sup>学びと交流プログラム2017「仏教の教えを仕事と人生に活かす～人間三昧、第二の人生～」と題して、海外を含め長年のビジネス経験を積んだ後、得度し住職として地域に生きる、臨済宗妙心寺派 恵日山 開眼寺(長野県千曲市)住職 柴田文啓氏をお招きし、「人間三昧、第二の人生」と題してご講演いただきました。AVCC賛助会会員、KK<sup>2</sup>協賛メンバーが相互に学び、交流を深める場となりました。

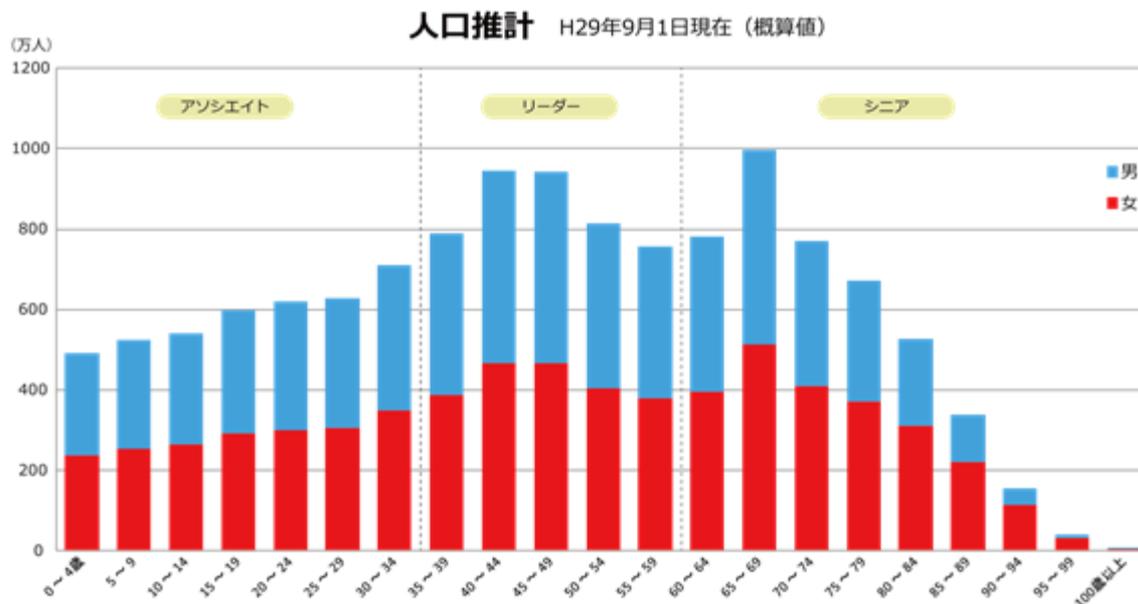
「AVCC&KK<sup>2</sup>学びと交流プログラム」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			ライブ配信 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	スマホ	
AVCC & KK <sup>2</sup> 学びと交流プログラム	2017/05/26(金)	72名	59名	0名	13名	43名	962名	874名	88名	1,077名

## Ⅱ 霞が関ナレッジスクエア(KK<sup>2</sup>)事業

### (1) 事業全体

平成29年9月1日現在の人口推計(概算値)を5歳刻みでまとめると下図のようになります。団塊の世代といわれる65～69歳が約997万人に対して、0～4歳は半数に満たない492万人、正に「少子高齢化」という言葉を実感するグラフになっています。



超高齢の年代を見ると、90～94歳が158万人、95～99歳が41万人、100歳以上は7万人、正に「人生100年時代」が現実になってきました。私達は、人生100年を想定したライフステージや働き方(キャリア)を考える必要があり、人生の長期化を悲観的でなく素晴らしいこととして前向きに捉え、そのかわり多くの弱者が共存する相互扶助が必須び社会が到来したと受け止めることが大切です。

KK<sup>2</sup>では、34歳までを「アソシエイト」、35～59歳を「リーダー」、60歳以上を「シニア」と人生を大きく三つのステージに分け、「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」をミッションに、人生100年時代のキャリアを考えるプログラムを平成29年度推進してまいりました。

## 人生100年時代、3キャリアステージ



### アソシエイト（～34歳）

新社会人から30歳代半ばの「襁下りステージ」

目の前の課題に全力で取り組み、仕事や人との出会いをアクティブに受け止める姿勢が求められます。

4,123万人  
(32.5%)

日本の人口推計  
1億2,667万人  
(2017.9現在)

4,294万人  
(33.9%)

### シニア（60歳～）

新しい役割を担いアクティブに生きる「キャリア活用ステージ」

培った経験を活かし、地域の人々と共に新たな課題に挑戦することが求められます。

4,250万人 (33.6%)

### リーダー（35～59歳）

頂を目指し険しい道に挑戦する「山登りステージ」

マネジメント力・専門力を高め計画的、戦略的にプロジェクトを遂行することが求められます。

## -1 自主プログラムと延べ参加者数

今年度は、166プログラムを実施しました。延べ参加者数は、KK<sup>2</sup>会場での参加者が1,442名、ライブ配信での受講者が131名。また、Webページ訪問による学習者数は21,216名。合計延べ22,789名の方に参加・学習していただきました。

自主プログラムと延べ参加者数

プログラム内容	実施回数 および コンテンツ数	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			ライブ配信 参加者合計	Webページ 訪問者合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	スマホ	
人と人の絆と地域の再生										
「デジタル公民館まっさき」活動	3	22名	7名	15名	0名		155名	144名	11名	177名
やってみよう！防災アクション	3	67名	47名	15名	5名		3,630名	3,416名	214名	3,697名
霞が関坐禅会	2	45名	21名	19名	5名		1,342名	853名	489名	1,387名
しごと力向上エキスパートと学ぶ										
エキスパート・スタジオ	4	100名	13名	55名	32名	46名	2,935名	1,861名	1,074名	3,081名
KK <sup>2</sup> しごと力道場	3	29名	11名	18名	0名		934名	670名	264名	963名
しごと力向上ライブラリ	12						2,405名	1,822名	583名	2,405名
KK <sup>2</sup> キャリア相談室	32	32名		32名			1,793名	1,111名	682名	1,825名
イノベーションプログラム	未実施									
コンピテンシー・チェック	9						1,679名	1,459名	220名	1,679名
新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援										
生涯現役版エキスパート・スタジオ	未実施									
文化に親しむ交流事業										
食と文化講座	3	92名	49名	36名	7名		1,443名	961名	482名	1,535名
霞が関音楽祭	1	50名			50名		167名	88名	79名	217名
霞が関寄席	3	313名	105名	131名	77名		1,514名	1,024名	490名	1,827名
音楽・文化活動への支援	2	250名			250名					250名
江戸TOKYO散歩	65						1,054名	1,054名		1,054名
官民連携支援事業										
霞が関オープンランチミーティング	11	147名			147名					147名
霞が関ばたけ	11	137名			137名					137名
特別企画										
AVCC&KK <sup>2</sup> 学びと交流プログラム	1	72名	59名		13名	43名	962名	874名	88名	1,077名
10周年記念講演会	1	86名	86名		0名	42名	1,203名	1,023名	180名	1,331名
<b>合計</b>	<b>166</b>	<b>1,442名</b>	<b>398名</b>	<b>321名</b>	<b>723名</b>	<b>131名</b>	<b>21,216名</b>	<b>16,360名</b>	<b>4,856名</b>	<b>22,789名</b>

## -2 メンバー数およびWeb会員数

昨年度に比べ、協賛メンバー数は1団体減の32団体となりました。メンバーの会費収入によってKK<sup>2</sup>事業は支えられていますので、今後メンバーにとって魅力ある提案や事業活動を積極的に進めていく必要があります。

個人メンバー制度につきましては、年々メンバーが減少していること、またホワイエをスタジオご利用者にご活用いただけるよう、平成29年4月に個人パソコン席を廃止したレイアウトへ変更したことに伴い、7月末で制度を終了いたしました。

### メンバー種別

	メンバーの種類	年会費
協賛メンバー	民間企業・各種団体	一口120,000円/年、一口以上
	NPO法人	一口60,000円/年、一口以上
	大学・専門学校	一口60,000円/年、一口以上
	個人 <small>※平成29年7月末日で終了</small>	12,000円/年
一般法人メンバー		一口120,000円/年、一口以上
Web会員		無料(登録制)

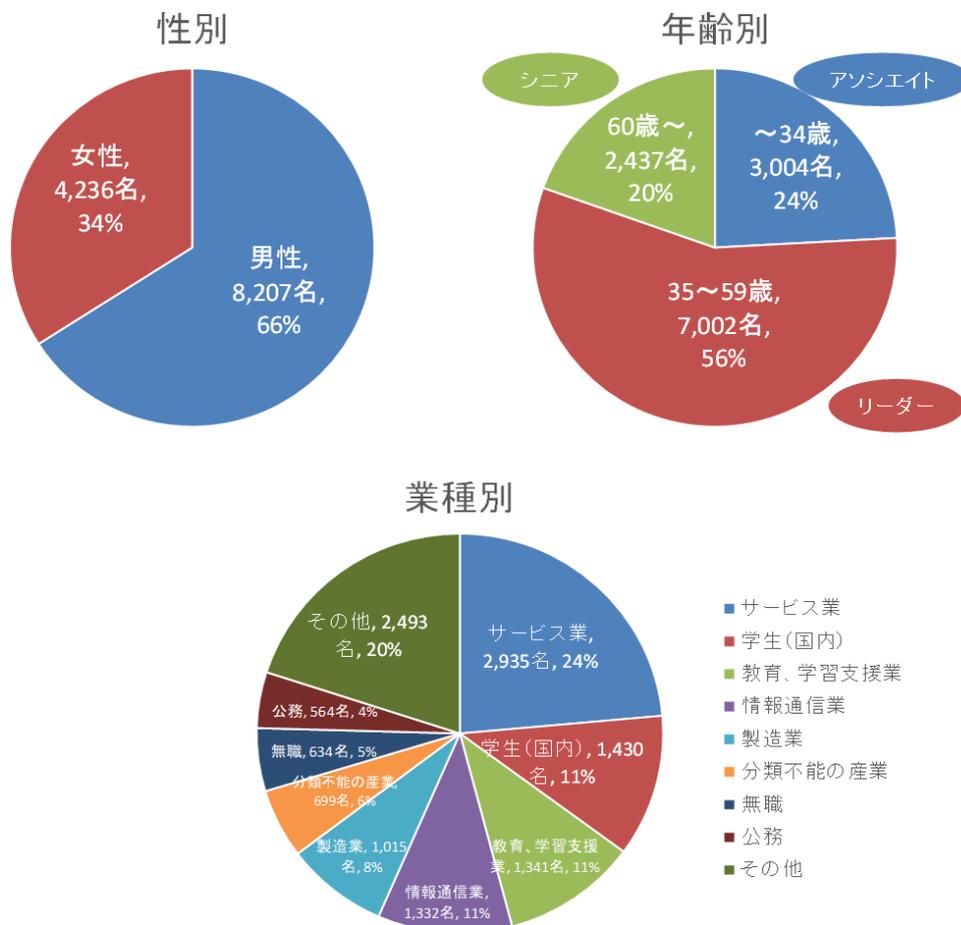
(税別)

### メンバー数

	協賛メンバー			法人メンバー	協賛メンバー(個人)	Web会員
	民間企業・各種団体	NPO法人	大学・専門学校			
平成29年度	<b>32</b>	24	3	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>12,443</b>
平成28年度	<b>33</b>	23	3	<b>4</b>	<b>11</b>	<b>11,728</b>

Web会員数は、前年度に比べ715名増加し12,443名となっております。属性の内訳は以下のとおりです。

Web会員の属性



### -3 施設利用状況(スタジオ、ラウンジ、エキスパート倶楽部)

KK<sup>2</sup>事業の収入は、メンバーの会費収入と施設貸出収入が2つの大きな柱となっており、施設貸出収入の増加が重要な課題です。スタジオの利用回数は昨年度より9回増えています。またラウンジにつきましては、これまでメンバー専用のレンタルスペースでしたが、平成29年4月より一般の方もご利用いただけるように変更いたしました。リピーターも増え、昨年度より61回増えています。

#### 施設利用状況

	スタジオ			ラウンジ		ホワイエ (PC席)	エキスパート倶楽部				KK <sup>2</sup> 施設 利用者数 合計	
	利用者数計	KK <sup>2</sup> 主催事業 参加者	レンタル スペース/ パーティ 利用者	貸出回数	レンタル スペース 利用者	貸出回数	利用者計	利用者数計	ランチ利用者	レンタル スペース/ パーティ 利用者		貸出回数
平成29年度	<b>8,118名</b>	1,395名	6,723名	156回	<b>1,566名</b>	96回	-	<b>11,755名</b>	8,484名	3,271名	99回	<b>21,439名</b>
平成28年度	<b>7,299名</b>	1,223名	6,076名	147回	<b>1,000名</b>	35回	420名	<b>13,946名</b>	10,698名	3,248名	110回	<b>22,665名</b>

#### ① スタジオ

セミナー、会議、交流会(パーティ)等のスペース貸出し及びライブ配信・収録・同時通訳・TV会議等の技術サービスの提供を行っています。PR活動を強化し稼働率の向上をめざします。

- ・開館日：月曜日から土曜日(祝日/夏季・年末年始休館を除く)
- ・開館時間：7:30～22:00(事前予約制)

#### ② ラウンジ(TV会議スペース)

定員16名(予備椅子利用の場合、最大25名可)のTV会議システムを備えた小規模な会議スペースです。昨年度までメンバー専用でしたが、一般の方より貸出についてお問い合わせが増えてまいりましたので、平成29年4月より一般への貸出を始めました。55インチディスプレイ(2台)、デジタルオーディオシステム、HD対応TV会議システム、光回線を備えています。

#### ③ ホワイエ(ワークスペース/スタジオ利用者・メンバー専用)

メンバー及びスタジオ利用者に対してワークスペースとしてご活用いただいております。今年7月には固定机から可動機にレイアウトを変更し、より自由度の高い利用が可能となりました。また、「江戸TOKYO散歩」で紹介している、歌川広重の「名所江戸百景」12作品を展示しており、来場される方にご覧頂いております。

#### ④ 交流カフェ「エキスパート倶楽部」

ランチ・カフェサービス(平日 11:30～15:00)以外の時間帯は、レンタルスペースとしてご利用い

ただいております。大型モニタを活用したセミナー・講習会/会議、交流会・パーティなどで利用いた  
だいています。

## (2) 人と人の絆と地域の再生

### -1 地域の自律した活動を後押しする「デジタル公民館まっさき」活動

2011年9月より様々な形で委託事業や自主事業として「デジタル公民館まっさき」活動を行ってまいりました。都会から出向いたよそ者が、地域住民の方々をまきこみ進めてきたこの活動をきっかけに、大船渡市末崎町では、地区公民館(ふるさとセンター)をベースとした、住民の方々自身による自律したコミュニティ活動が芽生えつつあります。

今年度は、公民館で開催される地域の自律したコミュニティ活動を見守り、後押しをするというスタンスで、コミュニティ活動への参加要請がある場合、可能な限りお応えする形で活動しました。これまでの「パソコン・ネットよろず相談室」は、IT ボランティアによる地元の方々による月次行事へ、「竹トンボ教室」は、居場所ハウスでのものづくり教室へと進化しました。

今年度は、KK<sup>2</sup>からは「共同体感覚」の育成を目的としコミュニティ活動への参加者を募り、現地の要請を受け今年度は3回開催し、参加者数は19名でした。交通費、宿泊費、食費についてはKK<sup>2</sup>の予算で負担しました。

なお、後述(5)-3 霞が関寄席 9月2日(土)開催の「チャリティ霞が関寄席 第2回金原亭駒与志独演会」の木戸銭は、主催者の金原亭駒与志さんのご厚意により、全額「デジタル公民館まっさき活動」に寄附いただいております。

「デジタル公民館まっさき活動」参加者数

プログラム名	開催日	参加者合計	属性内訳			Webページ訪問者合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第1回 7月活動	2017/7/29(土) ~7/30(日)	10名	2名	8名	0名	155名	144名	11名	165名
第2回 10月活動	2017/10/3(火)	3名	2名	1名	0名				3名
第3回 12月活動	2017/12/1(土) ~7/30(日)	9名	3名	6名	0名				9名
3回開催	合計	22名	7名	15名	0名	155名	144名	11名	177名

### -2 行政に頼らない「むら」おこし、「やねだん」(鹿屋市串良町柳谷集落)Web ページ運営

「やねだん」は鹿児島県大隅半島のほぼ中央に位置し、120 世帯およそ 300 人が共存する、高齢化が進む典型的な中山間地域の集落です。「やねだん」では住民が協働して土着菌堆肥を作り、休遊農地でサツマイモや唐辛子を栽培し、家畜排せつ物の消臭にも活用しています。これらの販売により集落としての自主財源を確保し、住民の福祉向上などに役立てています。KK<sup>2</sup>は、この「自律した地域作り」を「地域再生」「コミュニティ・ビジ



ネス」の good practice として Web サイトで紹介し続けています。また、「やねだん」のリーダー豊重哲郎さん(柳谷自治公民館館長)は第 17 回エキスパート・スタジオに登場され、人生 100 年時代のコミュニティリーダーのあり方について熱く語って居られます。

\*やねだん Web サイト <http://www.yanedan.com/>

### -3 やってみよう！防災アクション

～「東京防災」で自分、家族、仲間を守る力を身につける～

今年度からスタートした新シリーズです。東京都が都内全世帯に配布した防災ブック「東京防災」を活用し、いざ！という時「自分を守る」「家族を守る」「職場・地域の仲間を守る」ために必要なはじめの一步を学ぶ体験型プログラムです。講師は、「霞が関防災キャンプ」「心と体のストレッチ」でもおなじみの鎌田修広さん(株式会社タフ・ジャパン/元消防学校体育教官)で



す。講義や実技を通して知識、スキルを磨きました。今年度は3回開催し、参加者数は67名でした。

「やってみよう防災アクション」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第1回「今やろう！事前準備」	2017/10/12(木)	23名	13名	8名	2名	1,939名	1,855名	84名	1,962名
第2回「災害発生！初動から30分」	2017/12/1(金)	24名	19名	2名	3名	1,205名	1,143名	62名	1,229名
第3回「災害発生後、避難まで」	2018/2/1(木)	20名	15名	5名	0名	486名	418名	68名	506名
3回開催	合計	67名	47名	15名	5名	3,630名	3,416名	214名	3,697名

#### -4 霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～

今年度からスタートした新シリーズです。仕事帰りに気軽に“坐禅”を体験し、姿勢を調べ、呼吸を調べ、そして心を調べ、じっくりと自分自身と向き合っていたくプログラムです。(宗教/宗派不問、どなたでもご参加可能です。)



臨済宗妙心寺派 東京禅センター様のご協力のもと、講師には第29回エキスパート・スタジオのゲスト 柴田文啓さん(臨済宗妙心寺派 宗門活性推進局顧問/開眼寺住職)と、中山宗祐さん(臨済宗妙心寺派 東京禅センター主任/円光寺 副住職)にご協力いただきました。はじめて坐禅を体験される方が多く、好評でした。今年度は2回開催し、参加者数は45名でした。

「霞が関坐禅会～自分自身と向き合ってみよう～」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第一回 霞が関坐禅会	2017/7/27(木)	24名	14名	5名	5名	720名	490名	230名	744名
第二回 霞が関坐禅会	2017/11/16(木)	21名	7名	14名	0名	622名	363名	259名	643名
2回開催	合計	45名	21名	19名	5名	1,342名	853名	489名	1,387名

#### -5 レジリエンスを鍛えるプログラムのコーディネート業務

KK<sup>2</sup> で開催する帰宅困難者体験等防災関連のプログラムがきっかけとなり、企業や団体より依頼を受け防災教育プログラムのコーディネート業務を行っています。通常のマニュアルに沿った防災訓練では十分ではなく、意識改革を主眼とした体感型訓練を実施することで、実際の有事に自分の頭で考え行動できる、また人とコミュニケーションをとり行動できることをテーマとした教育プログラムです。今年度は2回実施しました。

##### (1)「東京ミッドタウン 防災研修」(東京ミッドタウン株式会社様)

昨年度、社内の防災人材育成のため様々な資機材をそろえた防災研修ルーム(防災道場)を活用し、約100名の社員全員の防災教育を行うためのプログラムを策定し納品いたしました。今年度は、「第1回 火災・救急事案の実践対応能力向上」「第2回 地震災害の実践対応能力向上」「第3回 組織的訓練(総合演習)」を3クール実施、第1回、第2回については社内の研修コーディネータ役のコアスタッフが実施、「第3回 組織的訓練(総合演習)」については、鎌田修広さん(株式会社タフ・ジャパン)が講師をつとめ総合的な訓練を実施しました。

1. 日時:平成29年8月22日(月)/11月2日(木)/平成30年3月14日(水)

2. 研修時間:各回 約3時間(それぞれ午前午後、2回開催)
3. 対象者:全社員
4. 参加者:各回 20名程度

#### -6 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定

2015年2月1日、千代田区と「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」を締結し、震災、水災等の災害により被災した千代田区内の帰宅困難者等を一時的に「エキスパート倶楽部」と「スタジオ」に受入協力を行います。区の災害対策本部と専用防災無線で結ばれ、リアルタイムな情報連携が図れる環境を整えており、東日本大震災発災時にKK<sup>2</sup>として独自に帰宅困難者受入を行った経験を活かし充実を図ってまいります。

毎月1回千代田区災害対策危機管理課と防災無線の開通テストを実施しています。

帰宅困難者に対しては、以下の環境を整えています。

- ・3日分の水食料、毛布、携帯トイレなどの備蓄
- ・災害時特設公衆電話(4回線)の設置
- ・大型ディスプレイからの災害情報番組の放送
- ・最新の交通情報、被害情報などの提供
- ・Wi-Fi回線の開放及びパソコンの無料貸与
- ・スマホや携帯電話の充電対応 など

### (3)しごと力向上・エキスパートと学ぶ

#### -1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え学ぶインタビュー形式のキャリア教育プログラムです。ゲストは、さまざまな職業で活躍する若い世代から、人生二週目で社会の課題解決に挑戦するアクティブ・シニアまで、目の前の課題に全力で挑戦するエキスパート達です。これまで紹介したエキスパートは48名となりました。今年度は4回開催し、参加者数は100名でした。



「エキスパート・スタジオ」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			ライブ配信 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	スマホ	
第45回 西尾 貴紀さん (IT業界 システムエンジニア職)	2017/5/29(月)	18名	0名	0名	18名	6名	262名	184名	78名	286名
第46回 石井 美恵子さん (災害医療スペシャリスト)	2017/9/7(木)	38名	11名	22名	5名	17名	1,567名	985名	582名	1,622名
第47回 嶋田 鈴さん (空港ラウンジアテンダント職)	2017/11/10(金)	35名	2名	33名	0名	15名	1,013名	636名	377名	1,063名
第48回 山本 泰士さん (IT業界 システムエンジニア職)	2017/12/21(木)	9名	0名	0名	9名	8名	93名	56名	37名	110名
4回開催	合計	100名	13名	55名	32名	46名	2,935名	1,861名	1,074名	3,081名

「エキスパート・スタジオ」ゲストの主なコンピテンシー

プログラム	人間関係力 (Feel)				問題解決力 (think)				行動力 (Act)
	自己認識力	マネジメント力	共感力	コミュニケーション力	状況把握力	原因究明力	選択決定力	リスク分析力	実行力
第45回 西尾 貴紀さん (IT業界 システムエンジニア職)			●			●			
第46回 石井 美恵子さん (災害医療スペシャリスト)	●						●		
第47回 嶋田 鈴さん (空港ラウンジアテンダント職)		●	●						
第48回 山本 泰士さん (IT業界 システムエンジニア職)			●	●					

なお、エキスパート・スタジオについては、「第22回 高野誠鮮さん(石川県羽咋市役所)」、「第17回 豊重哲郎さん(やねだん公民館館長)」のエキスパート・スタジオ、そして豊重さんのインタビューをまとめた「地域再生からニッポン再生」の3タイトルについてDVDを頒布しています。

KK<sup>2</sup>オリジナルDVDライブラリ 作品(税込)

タイトル名	時間	頒布価格
第22回 高野 誠鮮さん(地方公務員)	56分05秒	3,000
第17回 豊重哲郎さん(やねだん公民館館長)	64分35秒	3,000
地域再生からニッポン再生 豊重哲郎さんへの10の質問	27分36秒	2,000

## -2 しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～

「しごと力道場」は、多様なジャンルの人が集い、交流する他流試合の場です。定員10名の少人数で、普遍的なテーマについてじっくりディスカッションを行い、本質的な理解を深め、グローバルなしごと力を磨きます。継続的な参加で効果が上がるトレーニングのため段位認定を行っています。プログラム参加回数に応じて、白帯(1回)、茶帯(3回)、黒帯(5回)の認定証の発行を行っており、現在、黒帯 9名、茶帯 3名、白帯 74名となっています。今年度は3回開催し、参加者数は29名でした。

また昨年度よりプログラム開始前に「KK<sup>2</sup>しごと力道場 対話力チェックリスト」を配布し、自分の到達する目標を確認し、終了後の振り返りに活用しています。



			Version 1.0
KK <sup>2</sup> しごと力道場 対話力チェックリスト			
	チェック項目	レベル目安	チェック (◎、○、△、×)
議論を発議する			
積極的に話す	積極的に自分の考えを話す	白帯	
論理的に話す	根拠を持って、筋道だった話をする	茶帯	
具体的に話す	経験談など、事例を用いて具体的な話をする	茶帯	
相手の考えを理解する			
確認質問をする	不明な点を明らかにするために質問をする	茶帯	
	自分の理解を確認するための質問をする	茶帯	
深掘り質問をする	自分の理解を深めるために深掘り質問をする	茶帯	
対論を発議する			
相手の考えに反論する	相手の考えに反対の立場から発議する	茶帯	
	相手の考えに反対の立場から質問をする	黒帯	
反対の立場から発議する	全体の意見の違いない場合、持論と違っても、あえて反対の立場から全体に発議する	黒帯	
対話の場を整える			
新たなテーマを提示する	新たなテーマを場を提示し、対話の場を作り出す	黒帯+	
場の流れを整理する	場に出ている観点を要約・整理する	黒帯+	
場のテーマをキープする	場のテーマを外れた時には確認して元に戻す	黒帯+	

「しごと力道場」 参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
第15回「対話とは？」	2017/6/17(土)	11名	6名	5名	0名	407名	332名	75名	418名
第16回「リーダーシップとは？」	2017/10/14(土)	9名	2名	7名	0名	208名	133名	75名	217名
第17回「チームワークとは？」	2018/2/17(土)	9名	3名	6名	0名	319名	205名	114名	328名
3回開催	合計	29名	11名	18名	0名	934名	670名	264名	963名

### -3 しごとカ向上ライブラリ

仕事や社会活動に必要な知識、スキルの習得に役立つ教材を毎月1本開発し公開する「しごとカ向上ライブラリ」。無料でいつでも、どこでも学んでいただけます。今年度は以下の7講座15単元を開発し、これまでに公開した講座は85講座238単元となっています。講座の企画開発は、講師のみなさんに無償でご協力いただいております。あらためて感謝申し上げます。

平成29年度公開「しごとカ向上ライブラリ」



講座名	5段階評価
ビジネスパーソンのための情報セキュリティ基礎講座 講師:大西周(情報処理安全確保支援士、情報セキュリティアドバイザー、ITコーディネータ)	4.2
知って役立つ労働法 講師:味園公一(社会保険労務士法人味園事務所 代表社員 特定社会保険労務士)	4.5
これだけは知っておきたい「個人情報保護」(2017年度版) 講師:大西周(情報処理安全確保支援士、情報セキュリティアドバイザー、ITコーディネータ)	5.0
チームで成果を引き出すための強み引き出し術 講師:早坂明美(国家資格キャリアコンサルタント「KK2 キャリア相談室」アドバイザー)	4.8
育てて増やそう!わたしのお金 ~つみたてNISAを活用した資産形成のすすめ~ 講師:松田 惟(金融庁 総務企画局)	4.6
基礎から学ぶ 仕事に活かすインターネット 講師:津田伸介(防災及びシステムコンサルタント)	4.8
実務に役立つISMSの基礎~情報セキュリティマネジメントシステムとは~ 講師:大西周(情報処理安全確保支援士、情報セキュリティアドバイザー、ITコーディネータ)	4.8

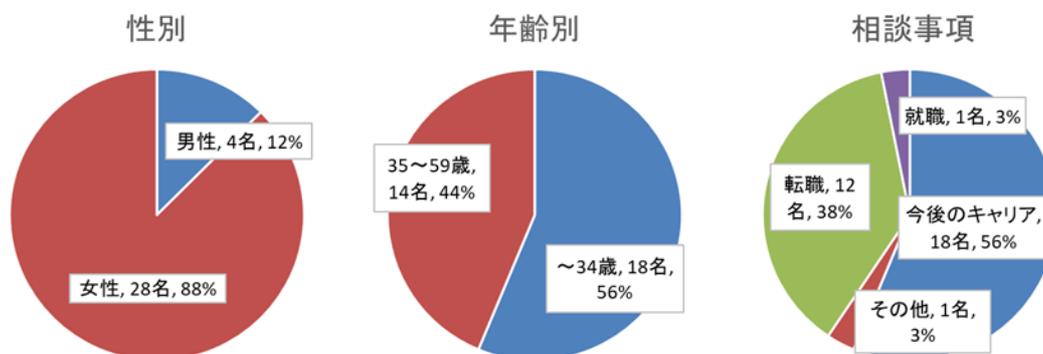
#### -4 KK<sup>2</sup>キャリア相談室

「仕事」とは何か、そして自分にふさわしい「仕事」とは何なのかを模索している方に対して考えるきっかけを提供したいと考え「KK<sup>2</sup>キャリア相談室」を開設しています。

今年度は32名の方に来談いただきました。内訳は男女別では女性が88%、年齢別では、～34歳のアソシエイト層が56%、相談事項については、今後のキャリアが56%となっています。

カウンセラーは特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(JCDA)と提携し、JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザーの方に主に担当していただいております。月曜日から金曜日まで週5日、16:00以降4コマ(約50分)で料金は5,400円(税込)となっています。

平成29年度 KK<sup>2</sup>キャリア相談室実施状況



キャリアカウンセラー(平成30年3月31日現在/敬称略)

カウンセラー	担当曜日	カウンセラー	担当曜日
 徳橋英治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	月曜日	 堀田治見氏 株式会社ビジネスパラダイム(日本)代表取締役	火曜日
 池田秀治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	水曜日	 垣内啓江氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	木曜日
 田代理恵氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	金曜日	 伊庭野基明氏 グローバルキャリアカウンセラー	アドバイザー

#### -5 産学官連携プログラム

文部科学省、厚生労働省、内閣府等各省の人材育成施策を踏まえ、「レジリエンス」「キャリア

教育」「高齢者就業支援教育」「地域創生」といったテーマを中心に取り組み、産学官連携や地域での様々な取り組み(Good Practice)を紹介します。今年度は、KK<sup>2</sup>が平成30年1月に10周年を迎えた記念として、100年時代をテーマに、高齢社会の概要を学び、具体的な企業の取り組み事例をみなさんと共有するプログラムとして開催しました。

(1)霞が関ナレッジスクエア事業 10周年記念講演会  
「さあ、人生100年時代。どう働き、どう生きるか！」

平成30年1月に霞が関ナレッジスクエア事業はお陰さまで開設10周年を迎え、次の10年を見据えて高齢社会とどう向き合うかをテーマに講演会を開催しました。



前田展弘氏(株式会社ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員/東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員)には「高齢社会ってどんな社会?～

『東大がつくった高齢社会の教科書』に学ぶ～」と題してご講演いただき、正殿博章氏(ニッセイ保険エージェンシー株式会社 代表取締役社長)には「高齢化社会で最も美しく輝ける会社」と題してご講演いただきました。

日本の未来予想図について、また企業の先進的な取組事例についてお話を伺い、参加者と課題や展望を共有しました。

「10周年記念講演会」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			ライブ配信 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般			PC	スマホ	
霞が関ナレッジスクエア事業 10周年記念講演会	2018/01/19(金)	86名	86名	0名	0名	42名	1,203名	1,023名	180名	1,331名

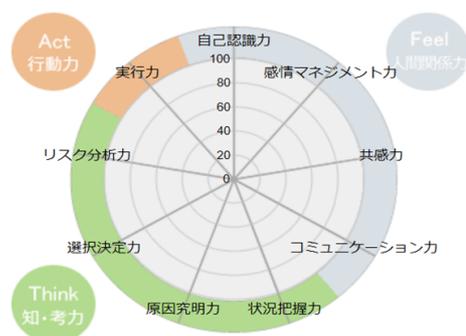
## -6 コンピテンシー・チェック

～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel（人間関係力）、Think（問題解決力）、Act（行動力）」について理解し、自分自身の学習課題を知るWeb学習プログラムです。今年度は、Webからの受講者は84名でした。早稲田大学人間科学部の教育メディア科学講座でもご活用いただいています。



コンピテンシー・レーダーチャート



このレーダーチャートは、あなたのコンピテンシーチェックの結果を表示しています。あなたの仕事や社会活動で、さらに求められるコンピテンシーに気づき、学びましょう。KK2では、コンピテンシーを高めるために役立つ教材をそろえています。是非活用してください。以下のリストから必要なコンピテンシー項目をクリックしてください。

Feel =人間関係力	Think =問題解決力	Act =行動力
(1) 自己認識力	(5) 状況把握力	(9) 実行力
(2) 感情マネジメント力	(6) 原因究明力	
(3) 共感力	(7) 選択決定力	
(4) コミュニケーション力	(8) リスク分析力	

コンピテンシー・チェック平均スコア (KK<sup>2</sup> Webでの受講者)

講座名	ケーススタディ	理解度 平均スコア
人間関係力 (Feel)	自己認識力 「就職活動」	71.3
	感情マネジメント力 「年下の上司」	69.1
	共感力 「父親の転職」	39.5
	コミュニケーション力 「バイトのシフト交替」	83.6
問題解決力 (think)	状況把握力 「町のゴミ問題」	52.0
	原因究明力 「パソコン故障の原因」	30.4
	選択決定力 「妹の進路決定」	45.0
行動力 (Act)	リスク分析力 「犬小屋づくり」	57.1
	実行力 「アイスホッケーのスターになるために」	40.6



#### (4) 新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援

この国の経済生活基盤の再生を図るには、シニアの経験と知恵と力が必要不可欠です。社会の課題解決にチャレンジする元気なシニアの活動を応援します。

##### -1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ、アクティブ・シニア版「エキスパート・スタジオ」

現役を引退後、新たなフィールドや、これまでの経験を活かして課題解決に活躍するシニアをゲストに迎え、人生二周目のやりがい・生きがいやこれからの夢などを語っていただきます。活躍するシニアの方々を紹介する「エキスパート・スタジオ」を積み上げていくことで、人生100年時代におけるキャリアのロールモデルを見つけていただきたいと思います。

#### (5) 文化に親しむ交流事業(KK<sup>2</sup>文化プログラム)

文化に親しみ、人と人との交流の場を提供する「KK<sup>2</sup>文化プログラム」は、文



庁「霞が関から文化カプロジェクト」事業として展開しています。

##### -1 食と文化講座

食を通じてさまざまな文化に触れ、講師、参加者ともに交流の場を提供するプログラムです。

今年度の特徴としては「エキスパート・スタジオ」のゲスト2名と連携して企画を行いました。7月開催「旬の岩瀬きゆりと日本酒を味わう」では、第43回エキスパート・スタジオゲ



スト、福島県須賀川市の農業家設楽哲也さん、また1月開

催「オーセンティックバーで味わう世界のお酒」では、第21回エキスパート・スタジオゲスト、井口法之さんに講師として登壇いただきました。今年度は3回開催し、参加者数は92名でした。

「食と文化講座」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
暑い夏におすすめ！ 旬の「岩瀬きゅうり」と日本酒を味わう	2017/7/6(木)	30名	17名	7名	6名	519名	341名	178名	549名
今、注目！「日本ワイン」を探る ～伝統の山梨VS革新の長野～	2017/10/5(木)	34名	13名	21名	0名	516名	311名	205名	550名
オーセンティックバーで味わう世 界のお酒～オーナーバーテン ダーに聞くカクテルの魅力～	2018/1/25(木)	28名	19名	8名	1名	408名	309名	99名	436名
3回開催	合計	92名	49名	36名	7名	1,443名	961名	482名	1,535名

## -2「霞が関音楽祭」への協力

文化庁が中心となり、KK<sup>2</sup>、霞が関コモンゲート、霞が関ビル等が主催するプログラムです。文化庁主催の「霞が関から文化カプロジェクト」の一環で、霞が関のにぎわい創出、また音楽に気軽にふれていただく機会の提供として平成25年度よりスタートしました。参加費は無料で回を重ねるごとに周知が進み、定着しています。今年度は7月31日～8月4日に開催され、KK<sup>2</sup>としてはランチタイムに1回開催し、参加者数は50名でした。

「霞が関音楽祭」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
「霞が関音楽祭2017」 サインソング ～手のうた～をどうぞ	2017/8/1(火)	50名			50名	167名	88名	79名	217名
1回開催	合計	50名			50名	167名	88名	79名	217名

## -3 霞が関寄席

仕事に忙しくストレスの多いビジネスパーソンに、伝統芸能に親しむ場、そして笑いでストレス発散、リラックスする場を提供します。今年度は3回開催し、参加者数は313名でした。

「霞が関寄席」参加者数

プログラム名	開催日	KK <sup>2</sup> 会場 参加者合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	Web訪問者内訳		合計
			メンバー	Web会員	一般		PC	スマホ	
五月 霞が関寄席 馬玉・駒与志二人会	2017/5/24(水)	107名	38名	37名	32名	290名	182名	108名	397名
チャリティー霞が関寄席 第2回金原亭駒与志独演会	2017/9/2(土)	97名	28名	24名	45名	666名	443名	223名	763名
十二月 霞が関寄席 馬玉・駒与 志二人会	2017/12/6(水)	109名	39名	70名	0名	558名	399名	159名	667名
3回開催	合計	313名	105名	131名	77名	1,514名	1,024名	490名	1,827名

## -4 音楽・文化活動への支援

2008年より株式会社ミュージカル様と共催してきました「霞が関ミュージックサロン」は、2016年度より株式会社ミュージカル様が主催するプログラムへと変更しました。それに伴い KK<sup>2</sup> は会場提供の協力を行っています。なおミュージカル様には前掲の「霞が関音楽祭」にもご協力いただいております。今年度は2回会場提供を行いました。

## -5 江戸TOKYO散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～

(英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版対応)

KK<sup>2</sup>開設記念に制作したオリジナル作品「江戸TOKYO散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の12景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街なみ、人々の営みを映像に収めています。広く世界の方に向けて東京の魅力を発信するために、YouTubeでの配信を行っています。今年度の動画視聴回数は、1,054回となっています。

\* 江戸TOKYO散歩Web画面

<http://edo-tokyo-sanpo.com/>



「江戸TOKYO散歩」動画視聴回数

動画視聴回数	日本語	英語	韓国語	中文簡体	中文繁体	合計
プロローグ	29	9	13	5	10	66
Vol.1「虎の門外あふひ坂」(虎ノ門)	58	2	3	2	5	70
Vol.2「浅草金龍山」(浅草)	23	1	3	6	4	37
Vol.3「湯しま天神坂上眺望」(湯島)	12	5	14	1	2	34
Vol.4「する賀てふ」(日本橋三越前)	129	6	12	14	67	228
Vol.5「山下町日比谷外さくら田」(日比谷)	21	3	3	3	1	31
Vol.6「飛鳥山北の眺望」(王子・飛鳥山)	34	8	3	28	4	77
Vol.7「大はしあたけの夕立」(新大橋)	30	5	7	23	2	67
Vol.8「堀切の花菖蒲」(堀切)	26	14	3	38	2	83
Vol.9「はねたのわたし 辨天の社」(羽田)	11	1	2	11	1	26
Vol.10「両国花火」(両国)	17	3	36	20	3	79
Vol.11「京橋竹がし」(銀座)	11	0	106	22	3	142
Vol.12「四ツ谷内藤新宿」(新宿)	83	9	4	16	2	114
合計	484	66	209	189	106	1,054

## (6) 官民連携支援事業

### -1 霞が関オープンランチミーティング

2011年1月よりスタートした中央省庁の若手官僚、NPO リーダー、企業のCSR関係者等による「霞が関オープンランチミーティング」(月1回開催)は、3.11東日本大震災をきっかけに被災地の復興を支援する官民のインフォーマルな情報交換の場となり、現在は各メンバーの立場でできることを持ち寄り地方創生に向けた連携協働を進めています。KK<sup>2</sup>は会場提供の協力を行っており、今年度は11回開催し、参加者数は147名でした。

### -2 霞が関ばたけ

農林水産省の若手職員が中心となり、日本の農林水産業の未来について、農林水産業従事者、企業、NPO、大学等垣根を越えて連携し、それぞれの立場での課題共有や議論を深める早朝ミーティングの場です。2012年よりKK<sup>2</sup>は会場提供の協力を行っています。今年度は11回開催し、参加者数は137名でした。

## (7) その他運用関連

### -1 協賛メンバー向け Web サービスの提供(協賛メンバーページ)

昨年度よりスタートした協賛メンバーの従業員様向け学びのページ作成サービスは、現在3社のご利用をいただいています。協賛メンバー加入のメリットとしてもお勧めできるよう、多くのメンバー様にご活用いただけるよう推進しています。

### -2 KK<sup>2</sup>Webサイトでの情報発信

KK<sup>2</sup>の自主企画プログラムは、収録を行いWebプログラムとして公開し、いつでも誰でも無料で学べる環境を提供しています。また、KK<sup>2</sup>コンピテンシー、「しごと力」カテゴリで整理し、スマートフォン・タブレット対応、学習記録を蓄積する(eポートフォリオ)機能、プログラムへの学習者の評価(アンケート)取得機能、レンタルスペース予約状況確認と利用申し込み機能などをご利用いただけるサービスを提供しています。



### -3 霞が関ナレッジスクエアfacebookページ

KK<sup>2</sup>Webサイトと連動し、ゆるやかなファンとの交流を促進するために「facebookページ」を運営しています。各種プログラムの告知などタイムリーな情報を発信しています。「霞が関寄席」「食と文化講座」については、単独のfacebookページを設定しています。

### -4 メルマガ「メッセージ from KK<sup>2</sup>」発行(毎週金曜日)

毎週金曜日、Web会員向けにメールマガジン「メッセージ from KK<sup>2</sup>」を発行しています。内容は、巻頭言「メッセージ from KK<sup>2</sup>」「人と人の絆と地域の再生」「しごと力向上・エキスパートと学ぶ」「新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援」「ライブセミナー」「文化に親しむ交流事業」「無料でご覧になれるプログラム」「貸し会議室・レンタルスペース」「事務局からのお知らせ」で構成されています。



なお、巻頭言「メッセージ from KK<sup>2</sup>」は、レギュラー4名(第1週 久保田了司/第2週 伊藤健二/第3週 伊庭野基明/第4週 華井弘子)が週替わりで執筆をしていますが、今年度、第5週目のメールマガジンについて、KK<sup>2</sup>アドバイザーメンバーの方にご協力いただきました。(6/30 野田弘子さん、9/29 池田正夫さん)今年度は51回発行し、通巻では第521号となります。(2018年3月末日 購読者数9,517人)

### -5 霞が関ナレッジスクエア運営委員会 開催

平成29年度運営委員会は、第1回として平成28年度事業報告および平成29年度事業計画の報告を平成29年6月14日に実施、第2回として平成29年度上期報告について平成29年12月13日に実施しました。

霞が関ナレッジスクエア運営委員会(敬称略)

#### 【委員】

<有識者委員>

福田 猛 氏(一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長)

藤野 仁三 氏(東京理科大学大学院 嘱託教授)

<霞が関7号館PFI 株式会社>

関 朋一 氏（株式会社久米設計 業務本部総務部 副部長）

菅谷 健二 氏（東京建物株式会社 ビルマネジメント第1部長）

杏村 潤貴 氏（大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部）

村上 元樹 氏（新日鉄住金エンジニアリング株式会社

建築・鋼構造事業部 プロジェクト部 PFI担当 シニアマネージャー）

※第1回のみ

臼倉 毅 氏（新日鉄住金エンジニアリング株式会社

建築・鋼構造事業部 プロジェクト部 PFI担当 シニアマネージャー）

<オブザーバー>

酒井 秀人 氏（文部科学省大臣官房会計課 管理班企画渉外係長）

<霞が関ナレッジスクエア(KK<sup>2</sup>)>

久保田了司（一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)理事長／

霞が関ナレッジスクエア代表）

伊庭野基明（一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)理事／

霞が関ナレッジスクエア グローバルキャリアカウンセラー）

伊藤 健二（霞が関ナレッジスクエア 産学官連携主席研究員／

明治学院大学 特別学長補佐・戦略担当）

事務局 山田瑞恵／佐々木香織

### Ⅲ コンサルティング事業

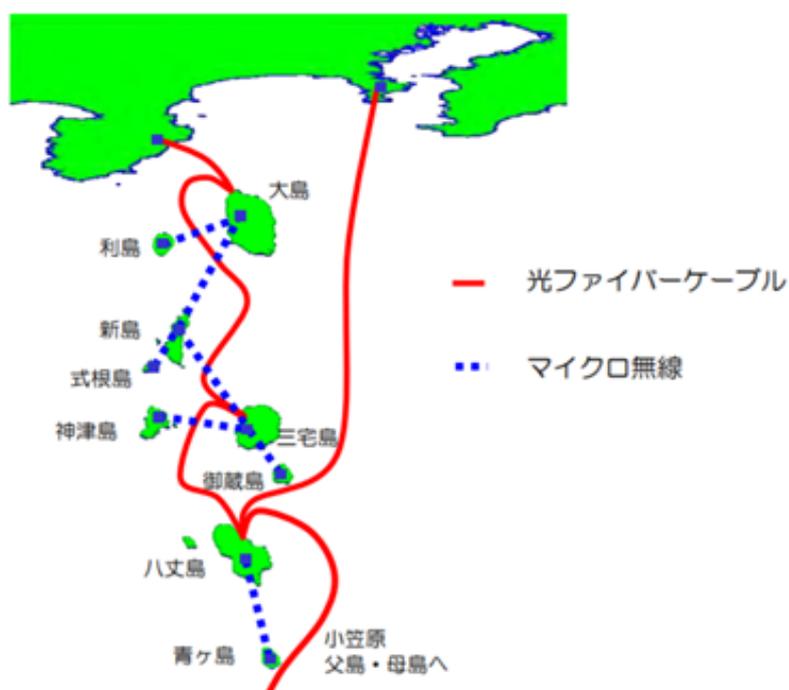
#### (1) ネットワーク設計コンサルティング業務

##### -1 衛星通信ネットワークコンサルティング

一般財団法人自治体衛星通信機構が地域衛星通信ネットワークを用いて自治体等へ提供しているデジタル映像伝送を、次世代に対応した映像伝送へ移行するために、次世代映像伝送の設計を行いました。また、その設計内容に基づき、実衛星を使った実証実験を実施し、今後の発注に向けた検証も行いました。

##### -2 海底ケーブルコンサルティング

東京都が計画する伊豆諸島5村6島(利島、新島、式根島、神津島、御蔵島、青ヶ島)まで海底光ファイバーケーブルを敷設し、超高速ブロードバンドサービスを提供する事業において、平成28年度に実施を計画している第三期整備事業(大島ー利島、新島ー利島)について、施工内容を整理し、資料としてまとめました。



<図：島々間におけるブロードバンド基盤概要図(東京都ホームページより)>

### -3 FTTH網構築コンサルティング

東京都利島村において、平成30年度に予定されている、海底光ケーブル敷設に合わせ、村内の光ファイバー網を整備するため実施設計を行いました。また、整備した光ファイバー網を利用した各種サービスの設計およびIP告知端末整備の設計業務も行いました。

### -4 ケーブルテレビネットワークコンサルティング

北相木村役場をセンターとして、村全域の全世帯に向けてFTTH方式による光ケーブル網により、地上デジタル放送、BS放送、自主放送、および超高速インターネット接続サービスを提供しているが、整備後、約10年が経過するため、その更新の設計を行いました。

### -5 WiFiネットワークコンサルティング

1) 北海道鶴居村において、H25年度に整備した村内ネットワーク(情報通信基盤事業)を活用し、観光見学先にWI-FI設備を整備するにあたり、設計・施工の一体事業の委託を受けました。

2) 平成30年4月に開院する日本生命病院内のWiFi環境において、適正な電波状況であるかの調査業務を行いました。

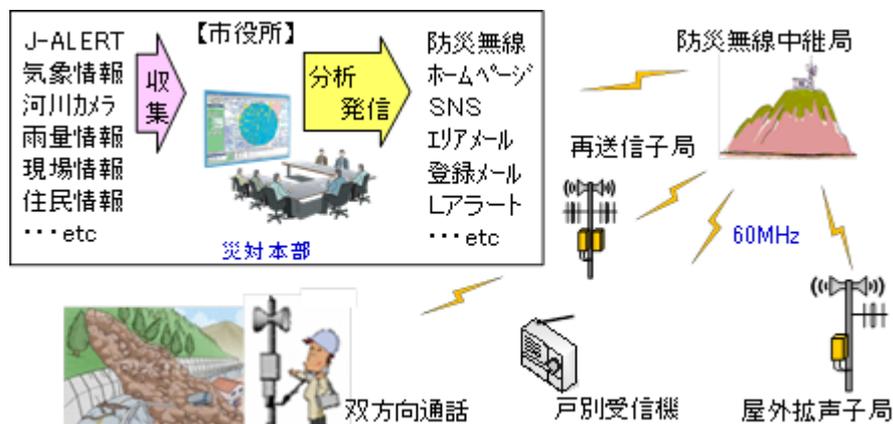


<図: 公衆無線LAN整備イメージ(総務省ホームページより)>

## -6 市町村防災情報ネットワークコンサルティング

市町村防災情報ネットワーク設計コンサルティング実績は、以下の通りです。

1. 熊本県上天草市防災行政無線(同報系デジタル化)実施設計業務
2. 東京都渋谷区災害対策本部等移設計画作成等業務
3. 山梨県都留市防災行政無線(同報系)デジタル化整備実施設計業務
4. 東京都あきる野市防災行政無線(同報系・移動系)デジタル化整備工事設計業務
5. 東京都武蔵野市防災行政無線(同報系)デジタル化更新事業基本・実施設計業務
6. 福岡県北九州市同報系防災行政無線サイレン設備増設実施設計業務
7. 北海道南富良野町行政情報伝達調査委託業務
8. 神奈川県三浦市防災行政無線(同報系)整備工事基本・実施設計業務
9. 神奈川県川崎市同報系防災行政無線電波伝搬調査業務
10. 北海道むかわ町防災行政無線(移動系)デジタル化等実施設計業務
11. 長野県木曾町防災行政無線デジタル化(同報系・移動系)実施設計業務
12. 新潟県妙高市防災行政無線(同報系)デジタル化実施設計業務
13. 東京都荒川区災害時情報システムの構築に係る基本設計業務
14. 神奈川県川崎市消防救急無線固定局整備基本設計業務
15. 高知県安田町防災行政無線デジタルシステム(同報系)整備設計委託業務
16. 大分県宇佐市防災情報システム基本構想策定支援業務
17. 茨城県潮来市防災行政無線(デジタル同報系)設備実施設計業務
18. 福岡県大野城市災害情報伝達システムデジタル化調査・実施設計業務
19. 宮崎県諸塚村防災行政無線(同報系)デジタル化整備事業実施設計支援業務
20. 愛媛県八幡浜市防災行政無線デジタル同報系システム実施設計業務
21. 鹿児島県龍郷町防災強靱化事業委託業務



<図:防災行政無線システム整備イメージ>

市町村防災情報ネットワーク設計監理業務実績は、以下の通りです。

1. 徳島県北島町同報系防災行政無線デジタル化再整備工事監理委託業務
2. 長崎県西海市西海地区防災行政無線デジタル化更新整備工事施工監理業務
3. 高知県香美市防災行政無線デジタルシステム(同報系)整備工事監理業務
4. 広島県三次市ケーブルテレビ設備改修工事施工監理業務
5. 東京都北区地域防災無線(同報系)難聴対応・デジタル拡声子局設置業務 監理
6. 長野県軽井沢町防災行政無線(同報系)デジタル化工事設計監理業務
7. 東京都墨田区防災行政無線(固定系)再構築工事設計監理業務
8. 千葉県酒々井町同報無線デジタル化工事施工監理業務
9. 山梨県上野原市防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事監理業務
10. 北海道置戸町 防災行政無線整備事業工事監理委託業務
11. 広島県府中町防災行政無線デジタル化整備工事監理業務
12. 東京都足立区防災行政無線(固定系)デジタル化設計監理等業務
13. 千葉県八千代市防災行政無線デジタル化再整備工事監理業務
14. 東京都町田市防災行政無線子局設備再構築工事監理業務
15. 茨城県稲敷市防災行政無線同報系整備施工監理業務
16. 東京都東久留米市防災行政無線デジタル化工事監理業務
17. 長野県高山村デジタル同報系防災行政無線導入支援業務

## (2) 情報システムコンサルティング業務

### -1 ITガバナンスコンサルティング

山梨県笛吹市において、ICT-BCP策定に係る現状調査、分析および被害を受ける可能性の検討を行い、ICT-BCP計画書の作成を行いました。その計画書に基づき、全職員教育を行いました。

### -2 業務・システム最適化コンサルティング

山梨県上野原市において、基幹業務系システム(住民記録、税、福祉関係のシステム)がリリース完了を迎えるにあたり、次期システムについて、クラウドなども含め、更新に向けた各種検討を行い、システム更新業者の選定を行いました。

### -3 システム経費適正化コンサルティング

山梨県国民健康保険団体連合会において、次期国保総合システム(独自システム・外付けシステムを含む)の保守・運用経費に係る評価・支援および情報集約システムに係るシステム保守・運用経費に係る評価の支援を行いました。

### -4 地域情報計画策定コンサルティング

東京都府中市において、各所ヒアリング等から現状の地域の課題を抽出し、市で設置する委員会との連携を図りながら、地域の情報化計画として取りまとめを行いました。

## (3) 情報セキュリティコンサルティング業務

### -1 情報セキュリティ監査

1) 東京都府中市において、情報セキュリティ外部監査を実施しました。今年度も、範囲を市立の小中学校にまで広げ、そこから課題となった事象を中心とした、情報セキュリティセミナーも開催し、セキュリティに対するリテラシーの向上を図りました。

2) 山梨県笛吹市において、情報セキュリティ外部監査および内部監査のための監査員研修を実施しました。



## -2 情報セキュリティ研修

1) 山梨県甲州市において、情報セキュリティに関しての全職員研修を実施しました。

2) 山梨県上野原市において、更新した情報セキュリティポリシーに沿って、情報セキュリティに関する研修を行いました。

3) 山梨県国民健康保険団体連合会において、特定個人情報保護についてのセミナーを実施しました。

### (4) プライバシーマーク認定審査業務

経済産業省が普及・啓蒙している、個人情報保護に関する第三者認定制度「プライバシーマーク制度」の認定について、(一財)日本情報経済社会推進協会および(一財)放送セキュリティセンターに対し、審査支援業務を行いました。

### (5) ISO27001取得コンサルティング業務

山梨県国民健康保険団体連合会において、ISO27001取得へ向けた、コンサルティングを行いました。

## IV 運用保守等業務支援事業

### (1) TV 会議システム運用業務

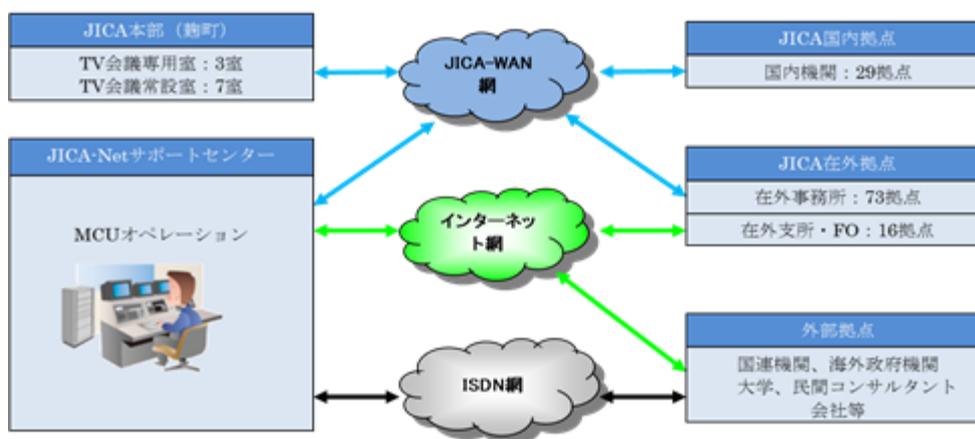
独立行政法人国際協力機構（JICA）では、平成28年度までJICAにおけるTV会議システムの運用業務を当財団に委託してきましたが、平成29年度からの5カ年間

は、「国際協力機構コンピュータシステム運用等業務」の中にTV会議システム運用業務を含めた業務内容で、アクセンチュア株式会社に委託することになりました。

そこで、当財団では、平成29年度はアクセンチュア株式会社から「TV会議システム運用業務」の部分を受託し、JICA内に業務従事者を配置し、以下のようなTV会議システム運用業務や付随する業務を行いました。

1. TV会議予約管理業務
2. TV会議接続オペレーション業務
3. TV会議室、TV会議機器管理業務
4. TV会議ヘルプデスク業務
5. TV会議システム更新に伴うコンサルティング業務

TV会議システム全体概念図



### (2) 情報システム保守管理業務

以下の情報システムの保守管理業務を行いました。

1. 千葉県松戸市文化会館ホール映像収録システム等の保守管理業務
2. 千葉県松戸市文化会館映像配信システム保守管理業務
3. 千葉県松戸市生涯学習情報提供システム(まつどまなびいネット)保守管理業務
4. 千葉県松戸市文化ホール社会教育推進関連機器保守管理業務

5. 学校法人昭和女子大学AVシステムの保守管理業務
6. 学校法人松本歯科大学AVシステムの保守管理業務
7. 学校法人愛知大学東京霞が関オフィス情報システムの保守管理業務
8. 日本アムウェイ合同会社本社AVシステム保守管理業務
9. 日本アムウェイ合同会社地方プラザ(全国8ヶ所)AVシステム保守管理業務
10. 末崎地区公民館のIT環境(インターネット接続、無線LAN)の保守管理業務

## V 教材企画制作事業

### (1)生涯学習情報提供システム事業

AVCCが開発した生涯学習情報提供システムを導入済みの自治体に対しては利便性の向上を目的とした機能追加ソフトの開発を提案いたしました。

### (2)その他映像制作

1. 東京ガス研修センター内放映映像制作
2. 社労士連合会映像制作
3. 介護労働安定センターDVD複製 など

VI 認証・技術者資格等

認 証	登録番号
建設コンサルタント	建28 第10336号
ISO/IEC 27001	第1351号
プライバシーマーク	第10940003(07)号

分類	技術者資格	人数
電気・通信	技術士(電気電子)	2名
	技術士(総合技術監理)	1名
	電気通信主任技術者(伝送交換)	1名
	電気通信主任技術者(線路)	1名
	1級電気工事施工管理技士	5名
	2級電気工事施工管理技士	2名
	第1種電気工事士	4名
	第2種電気工事士	7名
	監理技術者(通信)	4名
	工事担任者(AI第一種)	1名
	工事担任者(AI第二種)	1名
	工事担任者(DD第一種)	1名
	工事担任者デジタル1種	3名
	工事担任者アナログ1種	1名
	工事担任者アナログ2種	1名
デジタル・アナログ工事担任者(総合種)	1名	

分類	技術者資格	人数
無線	第1級陸上無線技術士	1名
	第1級陸上特殊無線技士	16名
	第2級陸上特殊無線技士	6名
	第3級陸上特殊無線技士	1名
	第2級海上特殊無線技士	1名
	第1級総合無線通信士	1名
	第2級陸上無線技術士	1名
ネットワーク	CATV技術者	1名
	Cisco Certified Network Associate(CCNA)	1名
システム	初級システムアドミニストレータ	9名
	情報処理活用能力検定2級	1名
映像	CGエンジニア検定 ベーシック	1名
	マルチメディア検定エキスパート	1名
	画像処理エンジニア検定ベーシック	1名
セキュリティ	プライバシーマーク主任審査員	1名
	ISMS審査員補	1名
	情報セキュリティアドミニストレータ	1名
	情報セキュリティマネジメント	1名
防災	防火・防災管理責任者	7名
	防災介助士	1名
	防災士	1名

分類	技術者資格	人数
キャリア・知的財産	国家資格キャリアコンサルタント	2名
	GCDF米国キャリアカウンセリング	1名
	三級知的財産管理技能士	1名

無線局免許
防災行政無線60MHz帯デジタル実験試験局(16QAM方式)
防災行政無線60MHz帯デジタル実験試験局(QPSK方式)
防災行政無線260MHz帯デジタル実験試験局(TDMA方式)

## VII 運営に関する事項

### (1) 役員等名簿

理事長	久保田了司	当財団代表理事
常務理事	久保田庸弘	当財団業務執行理事
理事	清水 康敬	東京工業大学 学長相談役・名誉教授
	永岡 慶三	早稲田大学 人間科学学術院 教授
	伊東信一郎	ANAホールディングス(株)代表取締役会長
	正殿 博章	ニッセイ保険エージェンシー(株)代表取締役社長
	佐野 元昭	(株)ケイ・アイ・エス情報科学研究所 代表取締役社長
	伊庭野基明	グローバルキャリアカウンセラービジネスコーチ
	馬場 弘子	(株)サンカントサンク 代表取締役
	田中 純一	(一社)ビル減災研究所 代表理事
監事	鈴木 重文	弁護士
評議員	米里 文明	(株)インフィトラベルインフォメーション 元代表取締役社長
	稲葉 徹	センクシア(株)監査役
	大串 夏身	昭和女子大学 名誉教授
	唐澤 誠	(株)唐澤誠建築音響設計事務所 代表取締役
	福原 美三	(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会 事務局長
	近藤 孝夫	(株)同学社 代表取締役
	野田 弘子	プロビティコンサルティング(株)代表

### (2) 会議等の開催

#### -1 第1回理事会(通常)

開催日:平成29年6月5日  
 開催場所:霞が関ナレッジスクエア  
 主な議題:平成28年度事業報告・決算報告  
           公益目的支出計画実施報告  
           (株)メディアリンクとの業務委託実績

#### -2 第1回運営委員会(定例)

開催日:平成29年6月14日  
 開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成28年度活動報告及び平成29年度活動計画

-3 第1回評議員会(定時)

開催日:平成29年6月29日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成28年度事業報告・決算報告

公益目的支出計画実施報告

評議員の改選

(株)メディアリンクとの業務委託実績

-4 第2回運営委員会(定例)

開催日:平成29年12月13日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成29年度上期活動報告・下期活動計画

-5 第2回理事会(通常)

開催日:平成30年3月15日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成30年度事業計画・収支予算

(株)メディアリンクとの業務委託予定

(3)会員等 (平成30年3月)

賛助会員	38団体
協賛メンバー	32団体
法人メンバー	4団体
個人メンバー	4名
Web会員	12,443名

【平成29年度事業報告の附属明細書について】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。